

フクシマ原発現状と見通し、 日本原発の今後

≪講演要旨≫

福島原発事故の発生から6年が経過したが、福島原発事故の後始末も事故被害者への補償も中途半端なまま、再び全国で原発が再稼働されようとしています。使用済み燃料は引き続き行き場もないまま積み上げられ、廃炉の目途も立っていません。原発に関しては多くの情報が有りますが、“京大熊取6人組”の一人として事故以前から原発の危険性を説き続けてこられた小出裕章氏から真の実態、今後の見通しについて話して頂きもう一度原点に帰って考え、知識と理解を深める機会にして頂けたらと思います。

講師

小出 裕章 氏



【略歴】

1949年 東京生まれ
1974年 東北大学工学部原子核工学科卒、同大学院修了
1974年 京都大学原子炉実験所助手
2015年3月 定年退職
専門は放射線計測、原子力安全。伊方原発訴訟住民側証人

【主な著書】

『放射能汚染の現実を超えて』 北斗出版 1992（再刊：河出書房新社 2011）
『隠される原子力＝核の真実』 創史社 2010
『原発のウソ』 扶桑社 2011
『ぜんぶなくす、原発ゼロ世界へ』 エイシア出版 2012
『原発と憲法9条』 遊絲社 2012
『日本のエネルギー、これからどうすればいいの?』 平凡社 2012
『100年後の人々へ』 集英社新書 2014
『原発と戦争を推し進める愚かな国、日本』 毎日新聞出版 2015 など。

日時：2017年9月11日（月）13:00 開場、13:20～15:20 講演・質疑応答

場所：JR中央線中野駅前 中野サンプラザ8階 研修室

会費：1,000円 * 講演会終了後、講師を囲む懇親会予定（費用別途）

申し込み先：講演会事務局 真島・山岸 jiny@sf6.so-net.ne.jp 080-5511-1380
（定員になり次第お断りすることがある事ご了承ください）

主催：「松本深志高校12回卒業生」 有志 代表 山岸 任